

被災地奥能登3市3町で唯一実施されていなかった 穴水町で被災者への国保税の減免を実現

仮設への支援物資届と、聞き取りの活動の中で寄せられていた要望で、被災されて自宅は全壊、職も失われて、「町役場に国保税の減免を何度か訴えたが、「穴水町は行なっていない」と対応してくれない。なぜ穴水町は行なえないのか」との意見が寄せられました。役所には「また来たか」といった対応をされているとの深刻な相談でした。

共同支援センターとして国の通知を調べ、減免された全額は国の復興予算で補われること。他の自治体の実施状況も調べて、穴水町だけが運用されていないことを明らかにし、支援センターで穴水町に申し入れを行うことになりました。

6月19日に、宮城県の前県議の福島かずえさん、新潟の川俣幸雄さん、福島の小熊さん、地元穴水町でボランティア活動をされている滝井元之さんとも合流して、穴水町を訪問し、住民福祉課の笹谷英子課長さんに申し入れをしました。

「町としても遅くなったが、7月から実施する」と約束をいただきました。7月1日発行の街の広報紙で知らせます」とのことでした。

住宅・家財の損害に対して、国保税の減免措置があります。左の表を参考にしてください。

収入が減少した場合についても、国保税の減免が受けられます。詳しくは町役場にお尋ねください。

さらに、介護保険料、医療費の窓口支払いも減免を同時に行なうとのことでした。

住宅・家財の損害

損害金額及び所得要件無し

| (損害程度) | → 減免割合 |
|----------|--------------|
| 全壊 | → 全部 |
| 半壊・大規模半壊 | → 2分の1 |
| 床上浸水 | → 2分の1を超えない額 |

生かされた命 大事に がんばろうね! 大商連から能登・輪島へ支援!!



能登民商ニュースがんばるまいけ!
NO.16 より転載

大商連の皆さんが 能登民商会員を訪問

6月14、15日の2日間、大阪商工団体連合会から、支援物資をもって支援ボランティアが能登入り。

総勢8名の皆さんが、4月5月に続いて入り、民商会員の訪問活動を行いました。

「行政の被災者支援、業者支援の貧困さを実感。それでも頑張る会員の皆さんのパワーに業者のたくましさを感じ、被災者の皆さんの生業の再建に向けた姿、前向きな姿に、みんな逆に元気もらった」と話し、「その姿が胸にぐっと突き刺さった。『生かされた命、みんなが再建をめざす』と語ってくれた。訪問できて本当に良かった」と。

輪島市大野地区の被害 お宅から被災家具の運び出し

6月18日、新潟のKさん、東京のYさん、福島のOさん、3人で、輪島市大野町の被災者宅の被災家具などを、道路口まで搬出の手伝いを行いました。

同じ大野地域に地滑りと地震で2階部分が横転し1階は全壊の家屋。地質調査と地滑りの測定中の張り紙がありました。家の方は無事だったのででしょうか。

